

(3)

決算に対する各派の要望・意見



民主・無所属クラブ、市民クラブ藤沢、ふじさわ湘風会、藤沢市公明党及びVisionふじさわは全決算等に賛成し、アクティブ藤沢は令和3年度一般会計決算に反対し、日本共産党藤沢市議会議員団は令和3年度一般会計決算、北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計ほか4特別会計等に反対しました。ここでは、決算に対する各派の要望・意見の要旨をお知らせいたします。

市政・財政運営検証 次につなげる取組を

民主・無所属クラブ 9人

①働き方改革を取り入れ、女性職員の管理職登用を進めること。②会計年度任用職員については、欠員解消に努めるとともに、処遇に際しても不合理な差別が生じない対応を行うこと。③共生社会の実現を目指す。誰一人取り残さないまちづくりを推進し、人々の行動変容を促し、一人一人の権利を尊重し、丁寧な対応を行うこと。④防災分野におけるジェンダー平等を促進し、防災会議員における女性の

登用率向上に向けた取組を。⑤航空機対策について、国が実施している防音工事区域の見直し調査において市内の測定場所を示すよう働きかけを行うこと。⑥性感染症対策として、性行為や性感染症の正しい知識や検査を受けやすい環境の整備と普及啓発を。⑦特別支援教育については、インクルーシブ教育を実践し、学校関係者への理解の啓発を。⑧教育の働き方改革を行い、教員不足のた

めを踏まえた対応策及び財源確保を。⑨新型コロナウイルス感染症により拡大した子どもの貧困や教育格差に対し、引き続き奨学金制度の拡充、就学援助の基準の維持、学習支援や相談支援などの対策を行うこと。⑩子どもたちの豊かな育ちにつなげるようICT教育の促進を。⑪産後ケアを必要とする人も利用をためらわない仕組みづくりを

農者の担い手育成を支援し、地元農業者の生産力向上を高める事業を。⑬感染症によって疲弊した地域産業が存続できるよう支援すること。⑭気候危機を重く受け止め、気候正義(※1)の考えのもとに、全庁、市民、企業と協働して進めること。⑮海洋汚染を防ぐため、リデュース(減らす)への視点を強める取組を進めること。⑯藤沢市民会館再整備は、文化的活動を

未来志向の市政運営 臨機応変な対応を

ふじさわ湘風会 7人

①コロナ対応従事職員は、長期の災害対応として、超過勤務、休暇取得について積極的に支援すること。②デジタル革命に向け、デジタル能力と好奇心にあふれた職員の育成を。③住民にタイムリーに分かりやすく情報を伝えることができるよう、WEB技術と資質のある職員開発環境の提供を。④コスト意識を持ったふるさと納税事業を。⑤地域市民の役割と在り方を再検討し、利用率改善のため庁内連携した取組を。⑥地域で働く看護人材確保のため、医師会立看護専門学校運営費補助金の継続した支援を。⑦介護こそは、最後は人

の力によるものが大きい。⑮市内の田畑は危機に瀕しており、収益力が弱く用途転用が難しいことから、将来を見据え抜本的な改革を。耕作休眠地と農業作業地を区画整理し、作業地はAIを活用したスマート農業を推進すること。⑯漁業者の育成に向けヒアリングを行い、要望を反映した直接的な支援を。⑰公共工事等には、環境に配慮した再生セメントの活用を。⑱宮原百石線の浸水被害対策を。⑲ふじさわ学びネットワークを庁内横断的に活用し、人材と参加者のマッチングを図ること。⑳学校運営協議会は、子どもたちの生きる力を育むために地域の大人の応援体制の構築を。㉑下水道維持管理に関する包括的民間委託導入に際し、地元企業へも仕事が回るような制度構築を実施すること。

①市内の田畑は危機に瀕しており、収益力が弱く用途転用が難しいことから、将来を見据え抜本的な改革を。耕作休眠地と農業作業地を区画整理し、作業地はAIを活用したスマート農業を推進すること。⑯漁業者の育成に向けヒアリングを行い、要望を反映した直接的な支援を。⑰公共工事等には、環境に配慮した再生セメントの活用を。⑱宮原百石線の浸水被害対策を。⑲ふじさわ学びネットワークを庁内横断的に活用し、人材と参加者のマッチングを図ること。⑳学校運営協議会は、子どもたちの生きる力を育むために地域の大人の応援体制の構築を。㉑下水道維持管理に関する包括的民間委託導入に際し、地元企業へも仕事が回るような制度構築を実施すること。

税金の使い方 暮らしの分野優先に

日本共産党藤沢市議会議員団 4人

①靈感商法の被害者救済のため被害相談窓口の開設を。②下水道使用料の値上げは中止すること。③介護保険料は市からの繰り入れなどを講じて負担軽減を。④医療費は所得制限を設けず、18歳まで無料とすること。⑤特別養護老人ホームの待機解消に向け、介護労働者の処遇改善と併せて計画的な整備を。⑥高齢者の社会参加と移動支援のためバス等助成制度の創設を。⑦保育園の待機児童解消が図られたことだが、入所保育児童ゼロを目指すべき。⑧中学校給食はデリバリー方式か

ら自校方式の学校給食に切り替えること。⑨公有地活用や民有地を借り上げてマンモス校を解消し、さらなる少人数学級の進展を。⑩引地川流域で有機フッ素化合物が環境基準を超えた場合は、速やかに公表し、汚染源を調査すること。⑪鶴沼海浜公園スケートパークの開業行為は白紙撤回を。⑫温暖化対策について2050年までのゼロカーボン目標を必達すべき。⑬市民会館再整備は市民合意を優先すること。⑭投票率向上のため、期日前投票所を全市民センター・公民館で実施すべき。⑮村岡新駅設置は中止を。⑯市役所の窓口業務などの外部委託は市民サービスの低下など課題が多いことから見直すこと。

市民に寄り添う 小さなやさしい藤沢を

市民クラブ藤沢 9人

①行政評価はDX推進と併せて評価方法や検証方法を見直し、内部からも外部からも評価検証できるように改善を。②ふるさと納税の新たな返礼品としてNFT(※2)アート等を用意し、寄付額増加を目指すこと。③市民の家は、地域の実態に応じて市内全体の更新計画を立てること。④急傾斜地崩壊危険箇所について、民間の対策工事に対する補助等を検討すること。⑤迷惑電話防止機能付電話機購入補助の拡充と推進を行い、詐欺や悪徳商法に強いまちづくりを。

⑥障がい者差別解消支援地域協議会のオンライン開催等、開催方法を工夫し、会議の質と意義を高め、意見交換や情報共有の場を大切にすること。⑦民間事業者と連携して放課後子ども教室の設置を拡大し、放課後の児童の居場所の充実を図ること。⑧廃棄物処理施設持込み時の支払いは、キャッシュレス決済を早急に導入し、市民満足度及び業務効率性を高めること。⑨地域医療の充実、緊急時の医療体制確保に不可欠なため、今後も各関係機関と積極的に話し合いの場を設け、連携・協力体制の維持向上に努めること。⑩藤沢聖苑での残骨灰の処理について、早期売却に向けスピード

感を持って取り組むこと。⑪街頭労働相談について、駅だけではなくショッピングセンター等の様々な場所での開催を。⑫インバウンド回復に向けて不安を解消し、安心安全で楽しく親しめる観光地となるよう、住民の声に寄り添い、フォローすること。⑬漁港の荷さばきや製氷施設の長寿命化計画等を策定し、漁業者がスムーズに安全に仕事ができる環境づくりを。⑭誰もが楽しめる安心安全な公園づくりを進めるため、それぞれの公園の特色が生きる取組を。⑮藤沢駅南口の駐輪場が足りていないため、藤沢駅鶴沼海岸線の自転車駐車場の整備を早期に行うこと。⑯今後の拠点整備事業では、

包括的事業パートナーの導入を行い、地元の意見を聞き入れながら将来地区像の実現につなげることを。⑰中学校給食の選択制デリバリー方式について、他市の事例も参考にし、生徒にとってより良い給食になるよう研究すること。⑱特別課外活動費補助金について、今までの以上に実情に合わせた支援を行うこと。また、学級閉鎖中の生徒も、陰性証明によって出場を認めること。⑲スポーツと災害対策両方の視点から、秋葉台文化体育館の空調設備早期設置に向けた積極的な検討を。⑳介護保険事業を持続可能なものとするため、福祉部門があらゆる分野と連携協力して取り組むこと。

100%の事務執行 市民サービス提供を

藤沢市公明党 5人

①自転車走行空間について、早期に全区間の整備完了を。②Society 5.0(※3)を実現するため、総合交通体系や都市計画等、3Dモデル都市を目指し、プラットフォーム(※4)を本格導入すること。③ミニシティ・スクールと地域学校協働活動の推進に当たり、中身を充実させ、運営方針を策定し、基本的概念を共有して統一感を持って取り組めるよう支援すること。④早い段階で高校

3年生までの小児医療費助成拡大を実施すること。⑤小さく生まれた赤ちゃんの成長を記録できるリトルベビーハンドブックを作成すること。⑥犯罪機会論に基づく防犯対策について、市民に広く浸透するよう積極的な取組を。⑦避難行動要支援者の支援として、携帯端末を活用した避難共助支援システムを構築すること。⑧マンホールトイレや簡易仮設トイレの備蓄対策等、災害時のトイレ対策を事前に計画的に進めるよう支援すること。⑨がん治療における医療用ウェアや胸の補正具などの購入助成を行い、令和

5年度中にアピアランスケア支援を進めること。⑩KDB、国保データベースのデータ分析により、高齢者の医療費削減につながるよう取り組むこと。⑪2050年カーボンニュートラル実現に向け、ブルーカーボンの取組を具体化し、CO2実質排出ゼロに資する取組を。⑫観光客がスマホや携帯端末で気軽に安価に寄付ができるシステムの導入推進を。⑬藤沢市障がい者スポーツ連絡協議会の組織力強化を促進し、藤沢市障がい者スポーツ協会の設立支援を。

長引く停滞や変化に応じた課題解決策を

アクティブ藤沢 1人

①不登校生が前年度比14人増870人。マスク等で日常会話にも重大な影響。教員不足に市長部局から支援を。②介護サービス縮小で認知機能

や身体状態悪化と生活困難の複合化が進行。重層的支援と介護職へ緊急加算を。自殺者が一・五倍増加に転じたことも危惧。③中期財政見直しで収支乖離拡大の一方、村岡新駅受益者となる周辺企業に費用負担求める話も履行せず、明確な新駅を進める根拠を欠いている。④高校卒業まで小児医療費助成の対象拡大をすること。⑤湘南大庭の未来を考える会議は充分な検討を進められるよう予算確保をすること。⑥飲食店の下支えとなる経済支援策を講ずること。⑦下水道使用料金値上げは市民生活への影響を考慮し慎重になるべき。

財政構造の改善 計画的な事業見直しを

Visionふじさわ 1人

①ふるさと納税の市税流出額は約18億円になるため国に対して制度是正を働きかけること。②職員の手打ちに対する住居手当、地域手当は見直しす

(※1) 気候正義…先進国の人々が化石燃料を大量消費したことによって引き起こした気候変動の責任を果たし、暮らしと生態系を重視した取組を行うことで、途上国の人々が被害を被っている不公平さを是正しようという考え。(※2) NFT…従来、容易にコピーや改ざんができるため、資産価値を持ち難かったデジタルデータに、証明書コードを付与することで、資産価値を持たせることを可能とした技術。(※3) Society 5.0…サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。(※4) プラトール…国土交通省が進める3D都市モデル整備・活用・オープンデータ化のリーディングプロジェクト。